

非対称アラインメント

雨和七瀬

押し付けられた友人ごっこ
輪の中心にかごめやかごめ
結局千切れたあの子の作文
ちぎった私は和から外れた
天涯孤独の振りして生きた

押し花入りの葉をそつと
入学式に忍ばせ一歩

輪の中心だ

「その花好き？」と問われて一驚
そちらを向いて「いいえ」と返す
君は笑って葉を取り出す

せーのでくべた過去の友情
もういらなと思うたものを
今では右手に握りしめて

いつからか君は